

ハム将棋に勝てる！

棒銀戦法

今は亡きハム将棋に捧ぐ

【第1図】



ハム将棋に棒銀で挑む

第19手▲7七銀まで

先手はハム将棋。ここまでの指手は以下の通り。

- ▲7八金 □8四歩 ▲7六歩 □8五歩 ▲2六歩 □3
- 二金 ▲2五歩 □7二銀 ▲2四歩 □2四歩 ▲2四飛
- 2三歩打 ▲2八飛 □8三銀 ▲4八銀 □8四銀 ▲
- 6八銀 □9五銀 ▲7七銀 (第1図)

先手のハム将棋は2筋の歩を切ったが、飛車の移動により1手遅れている。その間に後手は棒銀を繰り出す。先手は先に▲9六歩を突いて、9筋に銀が出るのを避けた方が良かったが、今となっては銀歩の交換は避けられない。

【第2図】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂		金	王		銀	桂	香		一
							金	角		二
歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
										四
										五
	歩	歩								六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩		歩	七
	角	金			銀		飛			八
香	桂			玉	金		桂	香		九

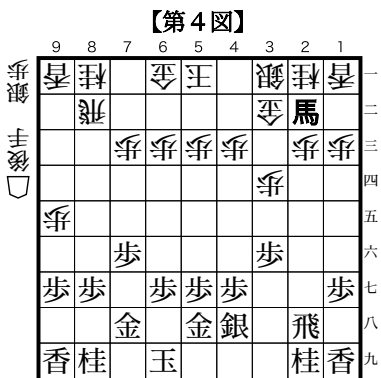
▲ 先手 銀歩

第25手▲8七歩まで

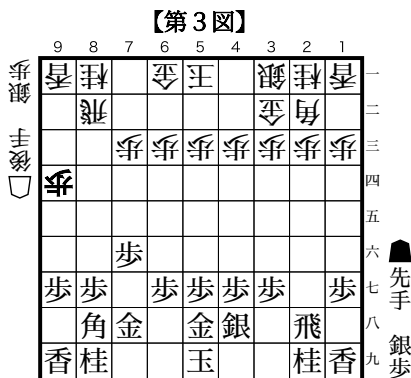
第1図のあと△8六歩▲同歩△8六銀▲同銀△同飛と銀歩の交換となり、先手は▲8七歩と受けてきた(第2図)。

ここは△7六飛と横歩を取る手もあるが、激しい戦いになる。銀歩交換で良しと見て△8二飛と引いておこう。

先手のハム将棋は次に▲5八金とじっくり駒組みを進める。初級者のなかには▲7七銀と駒を打って補強する人もいるが、持駒はなるべく持っていた方がよい。将棋ソフトで解析すると▲5八金は互角だが、▲7七銀では200点ほど先手不利になる。



第33手▲2二角成まで



第28手△9四歩まで

第2図以下、△8二飛▲5八金のあと△9四歩（第3図）。

棒銀をさばいて銀歩を手に入れたが、これだけでは攻撃力が足りない。端を絡めて攻め込もう。

第3図以下は、▲6九玉△9五歩▲3六歩△3四歩▲2二角成（第4図）。端を詰めて攻撃の体勢が整ったところで角交換を挑む。ハム将棋は角交換が大好きなので喜んで取ってくる。

以下、△2二同銀▲3七銀△3三銀▲4六銀と先手も棒銀を進めて来るが、ここで後手にはうまい手があった。

【第6図】



第42手△9八銀まで

【第5図】



第38手△9六歩まで

△9六歩！（第5図）

ここで△9六歩と突き捨てるのが先手の隙を突いた好手だ。当然の▲9六同歩のあと△9七歩と歩を垂らす。▲同香のあと△9八銀打が炸裂する。

第5図以下、▲9六同歩△9七歩▲同香△9八銀（第6図）。

この局面では8九の桂馬取りと8七銀成からの飛車先突破があり、もはや先手は両方を同時に受けることはできない。しかたなく▲7七桂と桂馬を逃がすのだが……

この書籍は「かんたん棋書エディタ Version: 1.2.0」にて作成しました。作者の@shogishinriさんに感謝します。

著者：ず

URL: <https://shogi.zukeran.org/>

